

平成 23 年度 大阪商業大学比較地域研究所 国際シンポジウム

開催のご案内

- テ ー マ 「東アジアにおける経済協力の進展と『取り残される』日本」
- 主 催 大阪商業大学比較地域研究所
- 使用言語 日本語、中国語（通訳有）
- 開催趣旨

2008 年末の米国発金融危機後、東アジアの経済発展が注目されている。中国、韓国等は金融危機の影響を受けたとはいえ、また自由貿易協定の締結など東アジア経済協力を推し進める狙いに違いがあるものの、経済協力の推進を背景に経済発展を回復している。これに対して農業問題を抱える日本は取り残されている。

推進されている経済協力の各国の狙いほどのようなものか、違いがあるにもかかわらず推進されている経済協力の結果どのような東アジア構造が生まれるのか。中国を中心とする構造が生まれるのか。日本の東アジアにおける地位ほどのようなものになるか。今後の世界を展望する上で欠かせない課題である。

本統一テーマは、東アジア経済協力の進展の実態に焦点を当てて今後の東アジアの構造について検討するものである。その際、どのような政治的狙いがあり、どのような国際関係を構築しようとしているかについても注意を払う必要があるだろう。発展を回復した中国、台湾、韓国の狙いと課題、「取り残されている」日本の実態と課題を、中国、台湾、韓国、日本の第一線の研究者によって明らかにするものである。

- 日 程 平成 23 年 10 月 29 日（土） 16：00～18：50

- 会 場 大阪商業大学ユニバーシティホール蒼天

<http://ouc.daishodai.ac.jp/campusmap/>

- タイムスケジュール

【開会挨拶】 16：00－16：05 大阪商業大学副学長 片山隆男

【報告】 16：05－16：25 中国からの報告（日本語で 20 分）

中国社会科学院近代史研究所台湾史研究室主任 王 鍵

報告タイトル「两岸関係の現状と東アジア構造の展望」

16：25－17：05 台湾からの報告（中国語報告 20 分、通訳 20 分）

中華經濟研究院大陸經濟所研究員兼所長 張榮豐

報告タイトル「台湾海峡兩岸関係の現状及び台湾の課題」

17：05－17：25 韓国事情の報告（日本語で 20 分）

津田塾大学学芸学部国際関係学科教授 林 哲

報告タイトル「現代韓国における東アジア協力論の諸相」

17：25－17：45 日本からの報告（日本語で 20 分）

同志社大学政策学部教授 岡本由美子

報告タイトル「東アジア経済協力の進展と 21 世紀における日本の役割」

【休憩】 17:45-17:50

【ディスカッション】

17:50-18:40 (50分)

コーディネータ 大阪商業大学経済学部教授・比較地域研究所副所長
前田 啓一

【総括】 18:40-18:50 (10分)

大阪商業大学経済学部教授・比較地域研究所所長 上原 一慶

※参加費 無料

申込み・問合せ先

大阪商業大学学術研究事務室

〒577-8505 東大阪市御厨栄町 4-1-10

TEL: 06-6785-6139 FAX: 06-6785-6237

mail: hiken@oucow.daishodai.ac.jp